

## 優等列車の同一都市圏内利用に関する駅勢圏の特性分析

渡邊拓也 松本涼佑 深澤紀子

新幹線や特急列車などの優等列車には、同じ都市圏内(同一県内の短距離区間など)を、通勤・買い物等の目的で日常的に利用する旅客がいます。ただし既存の需要予測手法では、それらの旅客の長期的な需要を予測することが出来ませんでした。

そこで、優等列車の同一都市圏内利用に関する、駅勢圏を単位とする新たな需要予測手法(幹線鉄道版駅勢圏法: 図)の開発を目指して、①同一都市圏内移動における交通機関の利用動向、②優等列車のサービス水準の違いによる交通機関選択の変化、③地理的要因が交通機関選択に及ぼす影響を調査するアンケート調査を実施しました。

その結果、移動の主たる交通機関のサービス水準だけでなく、駅までのアクセス交通等のサービス水準や、移動経路上の経由地の地理的な位置関係などが、交通機関の選択に影響を及ぼしていることなどが明らかになり、駅勢圏モデル構築に活用できる需要特性を得ました。

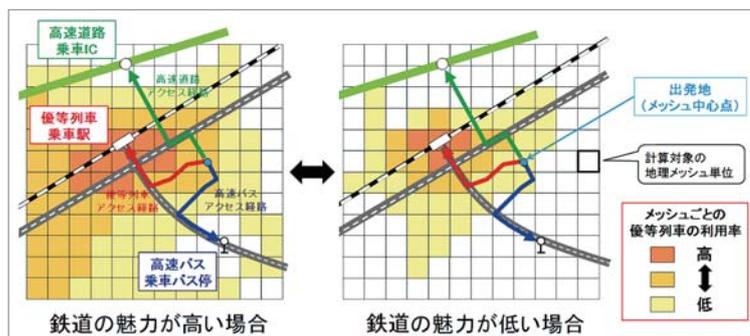


図 幹線鉄道版駅勢圏法のイメージ